

生徒議会だより

議会開催日 R2.11.16
発行日 R2.12.2

第2回生徒議会の報告

・1号議案【令和元年度各クラスからの提案事項】

昨年度行われた統一生徒議会において提案されていた2つの事項について、生徒代表（議員・学級委員長）、両キャンパスの生徒指導部長、進路指導部長にも出席していただき、意見交換を行いました。昨年度からの引き継ぎ事項は以下の2つになります。

- ① 頭髪について
- ② 冬季の上着について

事前に生徒会で生徒心得をみながら事前打ち合わせをし、さらに以下の点について意見を求めました。

- ① 校則に関して先生方と私たち生徒の間にある意識のずれを合わせていくこと。
- ② 「華美」、「高校生らしい」という表現に対して持つ、先生方、生徒一人ひとりのイメージを近づけていくこと。

<生徒意見>

- ・ツーブロックはよくないとされているが、清潔で高校生らしい髪型なのではないか。
- ・髪型は個性で自由なので別にツーブロックを禁止しなくても良いのではないか。
- ・ツーブロックは、見た目だけではわからないから禁止にしなくてもいいのではないか。
- ・前髪の長さの基準を男女で統一して欲しい。



<山田キャンパス生徒指導部長のご意見>・・・生徒指導上の観点から

- ・ツーブロックがはやる前というのはソフトモヒカンが流行っていました。その後ツーブロックという髪型が高校生の中で流行り岐阜県多くの学校で統一の指導を考えた時に、ツーブロック禁止とするというルール決めを行った。ルールを決める中でも○か×で考えると×という考えとなった。
- ・バックプリントについて、なぜ岡本はよくて山田はだめなのか。岡本は校内で防寒着は禁止なので、授業中に着用することはない。山田は校外での授業が多く、バックプリントの防寒着を授業中に着用する必要はないと考えているため。

<岡本キャンパス生徒指導部長のご意見>

- ・防寒着は授業で着用するかしないかが大きい。各キャンパスによって使用状況が違うのでそこは理解をして欲しい。
- ・岡本は身だしなみチェックシートを実行してから身だしなみ検査を行っている。またツーブロックは生徒指導部の集会でも毎回話し合いが行われるが岐阜県としてよくないと考えられている。

<山田キャンパス進路指導主事のご意見>・・・進路指導上の観点から

- ・三年生が進路を決めるという時に服装、頭髪は重要である。特に地元の方からすると、飛騨高山高校の生徒はどのような頭髪、服装をしているのか気になる。また、日ごろから生徒の様子などを見てみる。その時に奇抜だと飛騨高山高校は奇抜な生徒が多いと思われるかもしれないし、たくさんの先生が生徒の進路に携わるので、しっかりと頭髪、服装の基準を決めることにより、誰もが安心して送り出せる状態を維持していかなければいけない。

<岡本キャンパス進路指導主事のご意見>

- ・夏休みの模擬面接の時に地元企業の人事担当者の方に靴下や身だしなみのアンケートを実施した。その中で、就職試験では白のハイソックスを身につけることが望ましいと回答された方もいらした。学校が良かれと思って変えたことも会社の意識が今まで通りのこともある。業種や職種によっても服装や髪型の捉え方は違う。何が良くて何がだめなのかをしっかりと自分が置かれている状況から考察や判断できる力を身につけてほしい。

【今回の意見交換を終えて】

- ・冬季の防寒着については、両キャンパスの実情に合わせる必要がある。山田は授業の中で着ることを認識する。
- ・頭髪については、自分のとらえ方ではなく、飛騨高山高校の生徒としての自覚を持って、判断する力が大切だという認識が必要。

今すぐに変えることは難しいことです。今後も議会の中で討議し、それを後輩たちに託し、生徒や先生方で一つのルールを作り、守っていくことが大切なことではないでしょうか。

・2号議案【生徒会を中心とする活動について】

・3号議案【制服の見直しについて】

① 両キャンパス挨拶運動

- ・風紀委員主体で行っている挨拶運動の回数をもっと増やした方がいい。
- ・挨拶をする意味を考える時間を作り挨拶についてよく知る機会をつくる。

② 山田キャンパスと岡本キャンパスを繋ぐ道の清掃活動。

- ・両キャンパスのかかわりがコロナの影響で少ないため掃除をする中でかかわりを強くしたい。
- ・地域貢献にもなるからやろう（美化委員長）

③ コンタクトレンズとキャップの回収。

- ・コンタクトレンズの回収はリサイクルし、お金を生み出して、医療への給付金として役立てていく。
- ・岡本キャンパスでは行っているのに、山田も回収を行って統一した活動にしたい。

- ・夏のオープンシャツでは寒すぎる。
- ・ブラウスもオープンシャツもバランスが悪い。
- ・高山は昼と夜の寒暖差が非常に大きい。
- ・素材をニット素材というものを使いインナーが透けないようになっている。
- ・ニット素材は乾きやすい。

様々なことを考えながら今制服の見直しがされています。すぐに新しい制服スタイルにはなりません。色々と検討をしていきます。決まったことや、議論したことなどは随時生徒会新聞で報告します。

承認の結果 3分の2以上の賛成により、両キャンパスで上記の内容を生徒会や委員会を中心にこれから活動していきます。